



届け、平和のメッセージ!

～ 佐賀小平和資料展示会 ～ 佐小6年生一同



中には感想の他に、難しい質問などもありましたが、一生懸命にまとめたことをたくさんの人の前で発表できたことが何よりの収穫でした。

また『ヒロシマのある国で』をみんなで歌いましたが、この歌は修学旅行でも原爆の子の像の前で歌った歌です。歌に込められたメッセージもまた、これからずっと大切にしていきたいものです。

開会式の後半には、保護者から6年生へのメッセージもいただきました。"人を思いやり、命を大切に作る気持ち"をずっと持ち続けてほしい"という温かい願いにふれることができました。

展示会に出した作品は、個々の調べ学習のまとめと、グループで協力して描いた『原爆ドーム』『原爆の子の像』『平和資料館の外観』『平和公園の絵地図』の絵、『平和の絵』です。



調べ学習のまとめは、修学旅行前に各自でテーマを決めておいて、現地学習や事後学習で調べたことを、感想や写真などといっしょにまとめたものです。

原爆のしくみや被害の大きさ、現在の核保有国についてなど、さまざまな内容のものがありました。「どれもよく調べちゅうね」と地域の方も感心してくれました。それぞれの『平和の絵』に対しても「絵もそれぞれが協力してすごく感心しました」「絵がとってもきれいでした」といった感想が寄せられました。6年生にとって大きな励みになりました。

展示会の期間中、6年生は休み時間も分担して、受付や案内をしました。真剣に見てくれる人が多く、自分たちのしていることが人々に感動を与えていることが伝わり、自信や達成感につながることができました。休み時間以外にも学級ごとに見学に来てくれたようです。なんと拳ノ川小学校の6年生たちも見学に来てくれました。6年生もまた、この取り組みを通して、

平和の大切さを改めて実感することや、自分たちの学びを発信することの意義を考えることができました。学んだことを実践できるようにすること、つまり言葉や文章だけでなく、実際に行動ができるようになることを目指し、その第一歩として今回のような企画を起しました。修学旅行で育んだ思い、『佐賀小平和宣言』に記した思い、そして保護者や地域の方々から受けた思いを、それぞれ真剣に受け止め、普段の生活の中でも実行できるようにすることが、これからの大きな目標です。

見学に来てくれた方の感想の、ほんの一部を紹介します

「せんそうはにとおこらないでください。すごくかたしかったです。げんしばくだんはにとやらしないでください」

「たった一つのげんばくがあとされただけでも、何十万人の人が亡くなるのがつらかったです。こんな事がおきたから、つるをおったり、広島へ行ったりしているんだなと思いました」
(佐賀小児童より抜粋)

「戦争の恐さ、口頭忘れかけている日々のありがたみが、よく思い知らされました」

「周りに戦争体験者が少なくなる中、ひとつの戦争、ひとつの原爆がもたらす悲劇を、後の者に語り継いでいく事の大切さをあらためて感じました」

「みなさんもこれをきっかけに、戦争と平和について学びを広げていきながら、すぐそばにいる仲間を思いやる気持ちを大切にしていくて下さいね」
(保護者や地域の方々より抜粋)

佐賀小学校では、修学旅行(広島)の平和学習で学んだことを校内や地域へ発信するために、6月17日から23日の平日5日間、平和資料展示会を開催しました。

展示会には自分たちの作品に加え、広島平和記念資料館からお借りした『パネル』や『市民の描いた原爆の絵』などを展示しました。

保護者や地域の方々を招いての開会式では、6年生のみなどで考えた『佐賀小平和宣言』を発表した後、一人ひとりが自分の調べ学習の発表を行いました。